



広島記念病院 第14回 公開講座 テーマ:とてもこわい膵臓がん

日 時:平成27年5月19日(火) 13:30~14:30

講 師:広島記念病院 膵・胆道科医長 江口 紀章

今回はとてもこわいすい臓がんの早期発見、治療に向けての最新の話について江口医師が講義を行いました。膵臓がんは、その80%が発見段階で既に進行しているとも言われており、日本での患者数は年々増加しており、主要ながんの中で今最も生存率の向上が望まれています。

まずは膵臓の解剖・働きについて説明があり、膵がんは悪性新生物の中で死亡率第5位であること、膵臓がんの病態生理について講義がありました。膵がんの症状として、一番怖いのは黄疸(閉塞性黄疸)で、皮膚や尿の観察が重要であること、膵臓がんの危険因子として様々な因子があるが、特に喫煙やアルコールなどの生活習慣に関わるものがあり、危険因子がある場合は腹部エコーでの検査を行い、早期発見につなげることが大切であることの説明がありました。膵臓がんの腫瘍の大きさやステージによって治療方針が変わり、5年生存率が格段に違うため、早期発見・早期治療が必要であること、また生存率について、生存はしているが元気で過ごしているかというところではないとの話にうなづく方もおられました。先進医療などの医療費のお話では、あまりの高額に会場がざわつく場面もありました。

準備していた資料を超える人数の方が来られ、また初めて公開講座を受講される方が多く、熱心に聞いて下さっていました。アンケートでは、講義内容がよく分かった、勉強になったという意見を多数いただきました。



平成27年度「看護の日」記念行事報告書

看護部 師長 下土井 久美子

日 時：平成27年5月12日（火） 13時30分～15時30分

参加数：男性16名 女性34名 合計50名

内 容：各種身体測定（血圧・身長・体重・骨塩定量・体脂肪・腹囲測定）

各種相談（健康・栄養・社会福祉）

乳がんモデルを使用した自己検診指導

5月12日は、ナイチンゲール誕生の日で看護の日とも呼ばれています。広島記念病院では看護部主催で、看護の日に健康相談等のイベントを行っています。今年は5月12日に実施しました。

当日は、1階フロアで身長・体重、骨密度、体脂肪、血圧の測定、乳がんの自己検診方法の説明、看護師や相談員による健康・福祉相談や、当院管理栄養士による栄養相談もおこないました。

昨今は、健康ブームで健康に対する情報があふれています。その中で、やはり自分自身の健康状態を知ることが健康の維持への第一歩へつなぐと考えられます。今回、多くの方に参加していただいたことは、健康に対する考えが高まっているのだと感じました。地域の方の健康増進に生かせるようさらに工夫していきたいと考えています。



地域保健活動 本川小学校 手洗い講習会 報告

感染管理認定看護師 中野 隼

テーマ：ばい菌から身体を守ろう（手洗い・咳エチケットについて）

日時：平成 27 年 5 月 26 日（火）

対象：本川小学校 1 年生 3 クラス（25・25・26 名）

広島記念病院参加者：網本花子（看護部）、外村由美（看護部）、榎井真菜美（看護部）
山下詩乃（看護部）、川崎量子（薬局）、中野隼（看護部）

手洗いの必要性を理解してもらうためにまず紙芝居を行いました。紙芝居の後に、手洗いをするタイミングなどの感染対策に関するクイズを出しました。全ての児童が一生懸命紙芝居を見てくれていたので、ほとんどが正解することができました。

演習では、蛍光塗料とブラックライトを用いて児童自ら手の汚れを確認してもらい、どの部分にどの程度洗い残しがあるか目で見て確認してもらいました。

ブラックライトで手洗い残しの確認



手洗い風景



マスクの正しい付け方



咳エチケットとしてマスクの使い方をクイズ形式で学びました。児童は積極的に参加してくれました。

感染対策として手洗い、咳エチケットを学童期より習慣として身につけることが重要であると感じました。

後日、子供たちより素敵なお礼の手紙が届きました。

地域保健活動 本川保育園 手洗い講習会 報告

感染管理認定看護師 中野 隼

テーマ：ばい菌から身体を守ろう（手洗い・咳エチケットについて）

日 時：平成 27 年 6 月 3 日（水）

対 象：本川保育園 年長組 30 名

広島記念病院参加者：外村由美（看護部）、榎井真菜美（看護部）

山下詩乃（看護部）、川崎量子（薬局）、中野隼（看護部）

手洗いの必要性を紙芝居で伝えました。外から帰った手には目には見えないけど多くのばい菌が付いている。そのまま食事をするとうちに付いたばい菌が体の中に入り、風邪をひいたり、お腹を壊したり病気になってしまうことを分かってくれたと思います。

演習では蛍光塗料・ブラックライトを用いて、いつも行っている手洗いをやってもらいました。一人一人に、洗い残しをしてしまう部位があり、その部位を意識して手洗いすることで手洗い残しが減ることを目で確認することができました。繰り返し行うことで、どのようにしたら汚れが落ちるか学ぶことができました。

また、咳エチケットとして、くしゃみが出るときの作法やマスクの付け方をクイズ形式で学びました。多くの児童が咳エチケットの意味を既に理解し、保育園や家庭でも躰の一環としても身につけているようです。

子供たちには今回の体験を家庭に帰って、親・兄弟と多くの人に伝えてもらい、地域全体で感染対策としての手洗い、咳エチケットを実施してもらいたいと思います。



担任の先生も一緒にやってくれました。子供たちも、楽しく競争するように綺麗に手洗いできるように頑張っていました。



手洗い残しの場所は一人一人違います。自分の癖を知り、その部位の適切な洗い方を看護師から教えてもらいました。

本川子育てオープンスペース「ほっぽ」に参加して

看護部 宮本 明奈

日 時：平成 27 年 6 月 17 日（水） 10:00～11:00

参加者：親子 40 組 看護師、助産師、薬剤師、栄養士 計 7 名

場 所：本川児童館

平成 27 年 6 月 17 日、本川子育てオープンスペース「ほっぽ」に参加させていただきました。本川子育てオープンスペース「ほっぽ」は、本川児童館において、0～3 歳児の子どもさんを対象に身体測定や、お母さん、子どもさん達のふれあいの場として提供されています。毎月第 3 水曜日に開催されていて、多いときには 50 組以上の親子が集まり交流を深めています。



育児を行うお母さんの力に少しでもなりたい、そして、記念病院を身近に感じていただきたいという思いから、年 1 回、記念病院のスタッフも「ほっぽ」に参加させていただき、今回で 7 回目となります。例年、薬や離乳食についての相談が多いため、この度は薬剤師、栄養士、感染管理認定看護師、助産師、看護師という多職種のスタッフが参加しました。

はじめに、古元薬局長から薬に関して 5 分程度の講座をおこない、その後、お母さんたちの輪に職員が入りました。薬の飲ませ方や食事に関すること、歯の生え方、歯磨きの仕方等の質問が多く、必要に応じて専門性の高い薬剤師や栄養士が直接お母さんの相談にのりました。

また、感染管理認定看護師の中野看護師が、手を洗っても洗い残しがあるということを認識してもらうため、ブラックライトを用いて手洗い指導をおこない、多くのお母さんや子どもに楽しく体験してもらいました。お母さん達から「全然洗えてないんだね」といった声があり、改めて手洗いについて意識を高めていただくことができました。

参加させていただいた看護師も子育て中のスタッフが多く、お母さんたちと一緒に育児で大変なことや楽しいことを共有し、そして、かわいい子どもさん達とふれあわせていただいて、楽しい時間を過ごしてもらいました。今年は 2 回「ほっぽ」に参加させていただく予定で、次回は 11 月となっています。スタッフ一同、次回の参加を楽しみにしています。



親和会 野球観戦

会計課 船本 美貴恵

平成 27 年 6 月 4 日 (木) 親和会の行事で、カーブ観戦に行ってきました。

人気のパーティーフロアからの観戦は個人ではなかなか予約が難しい席だけに、例年大変好評を集めている企画です。今年はパーティールーム(小)2 部屋貸切で 57 名の参加でした。部屋は 1 塁側に面し、開放的でテレビ画面もあり、広く、わいわいがやがやくつろげました。食事つきで、ポップコーン、枝豆、フライドポテト、フライドチキン、焼きそば、串焼き、ミニケーキ、クリームチーズ入り丸焼きなどができました。試合は、日本ハムファイターズとの対戦で、2-6 で負けてしまいましたが、惜しいシーンもあり、楽しめました。野球をよくわからない私も、ピッチャーの剛速球や、バッターの打ち返した球は、迫力があり、見ていて興奮しました。

次回は 8 月 6 日 (木) 対阪神タイガース戦です。この日は、選手全員の背番号が 86 番になります。貴重な試合を是非パーティーフロアから観戦しましょう。



防災訓練研修を終えて

看護部 広瀬 久美子

平成 27 年 6 月 23 日 (火)、広島防災センターにて防災訓練研修をさせていただきました。研修内容として、日本の災害 DVD から日本中で起きている災害の実際を学び、煙中での避難体験や 3 種類の避難器具を使用した高所からの避難体験 (当院に設置されている避難袋も含む)、消火器を使用した放水訓練など、様々な状況を設定しながら災害時の避難・対応について学ぶことができました。今回の防災訓練研修を通して、私たちは病院に勤務する医療者として、そして地域に暮らす住民として日頃から災害時の対応について意識して行動していき、実際の災害時には冷静な判断とより安全な方法による避難を患者様や周囲の人々に広め行動していかなくてはならないと強く感じました。



広島市立本川小学校 救急蘇生研修会に参加して

看護部 中央手術室 森本 良介

平成 27 年 5 月 28 日（木）に、本川小学校で教職員を対象に救急蘇生研修を行いました。

毎年、プールの授業の開始前に、救急蘇生、AED の取り扱い、応急処置を学んで頂き、不測の事態に備えることを目的として本川小学校から依頼を受け、行われています。当院から、看護師 6 名がインストラクターとして参加しました。

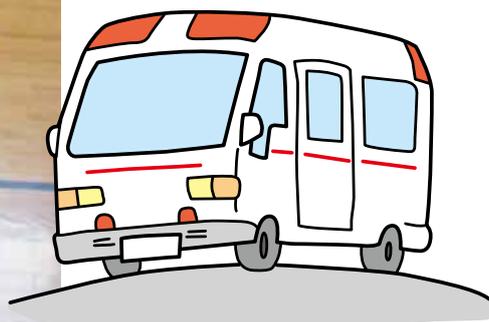
私は、今回初めての参加で、新人指導や病棟での伝達講習の際、看護師を対象に指導する機会はありましたが、医療従事者以外の方に指導することは初めてだったので、どの程度の知識・技術があるのか、どんな質問をされるのかと、とても緊張しながら訪問しました。

教職員の方達は、毎年研修を受けておられるので、知識・技術は持っておられますが、その知識・技術を引き出し、再確認の場となるように研修を進めて行きました。

研修中、教職員の方はとても熱心で、特に人工呼吸の際には、空気が上手く入らないと、何度も練習をされ習得されていました。また、質問も多岐にわたり、教職員の方々の救急蘇生に対する意識の高さを実感しました。

今回この研修に参加し、私自身の知識・技術の再確認にもなり大変有意義な研修となり、また、本川小学校の職員の方にも大変喜んで頂きました。

今後も地域に貢献する広島記念病院の一員として活動を続けて行きたいです。



広島市立竹屋小学校 救急蘇生研修を行なって

看護部 外来主任 酒井美明

平成 27 年 6 月 4 日（木）に広島市立竹屋小学校から依頼を受け、プールの授業開始前の準備の一環として教職員対象の救急蘇生研修を行ないました。竹屋小学校での救急蘇生研修は今年で 2 回目となり、当院からは 6 名の看護師が参加しました。

研修中は、実技に重点を置き参加された方、全員に胸骨圧迫、人工呼吸、AED を行なってもらい、不測の事態発生時には、その場に居合わせた全員で救急蘇生が行えることを意識して行ないました。教職員の方達はみんな真剣に取り組んでおられ、質問も多岐にわたりました。

実際に小学校で救急蘇生を行うことがないことが望ましいのですが、万が一そのような状況に遭遇したときに少しでも今日の研修が活かされることを願っています。



また研修に参加した看護師にとっても、一般の方々に指導を行えるチャンスを受け、有意義な時間を過ごすことができました。研修終了後には、来年も研修を依頼したいとの声を頂き、平成 28 年度の研修予約もして頂きました。

今後も地域密着の病院として、様々な活動を続けて行きたいと考えています。

七夕

6 月 30 日から 7 月 7 日まで、院内各フロアに七夕飾りを設置しておりましたので、ご覧になられた方も多いのではないでしょうか？

皆様のお願い事が叶いますように。



地域医療懇談会報告

地域連携室 今中 真弓

平成 27 年 7 月 2 日（木） 19 時より、リーガロイヤルホテル広島 クリスタルホールにおいて、地域医療懇談会を開催しました。

地域医療懇談会は今回で 3 回目になりますが、このたびは院長の交代ということもあった為か、前回は大幅に上回る 123 名の方々にご参加いただきました。

宮本院長の挨拶に続き、広島大学病院院長 平川勝洋先生にご挨拶を賜り、当院の地域医療支援病院運営委員長でもある、横山内科医院横山行男先生に乾杯の御発声を頂きました。また、当院の各科医師を紹介し、一人一人壇上よりご挨拶させていただきました。

歓談中は会場全体に活気があふれ、先生方の温かいご支援を肌で感じながら盛況のうちに終わることができました。日頃大変お世話になっている連携医療機関の先生方、関係各所の方々に直接ご挨拶を申し上げることができ、大変有意義な懇談会になったと思います。

この会を開催するに当たっては、2 週間前になって病院の紹介ビデオを作成するという案が持ち上がり、院内大騒ぎとなりましたが、当院の得意とするチーム力を発揮し一丸となって取り組んだ結果、無事にビデオが完成し、会場で皆様にお披露目する事ができました。この間、通常の業務に加え、ビデオの事が頭から離れない・・・という職員もおりましたが、このことで職員同士の連携もさらに深まったと感じます。

今後も院外・院内の連携をより一層深め、広島記念病院の理念に基づき、最良の医療が提供できるよう、努めて参りたいと存じます。



広島記念病院“恋するフォーチュンクッキー”

宮本院長発案で平成 27 年 7 月 2 日（木）開催された当院主催の地域医療懇談会で披露するため“恋するフォーチュンクッキー”を作成しました。企画から完成まで約 1 週間という短期間での作成でしたが、仕事の合間を縫ってのダンスの練習、撮影、そして編集と職員のチーム力が発揮できたのではないかと考えています。

URL: <https://youtu.be/uUm0aGTgNVE>



8病棟 紹介

8病棟は平成27年4月より地域包括ケア病棟として新しくスタートしました。地域包括ケア病棟ならではの特徴を紹介します。

今年度8病棟スローガン

「地域に帰そう！私たちの手で…」



病棟運営目標

目標Ⅰ：チームれんれん

【患者の立場でつなぐチーム医療の実践】

- * 院内連携強化：
勉強会、カンファレンスの実施
- * 院外連携強化：
合同カンファレンスの実施
看護訪問、退院後電話調査、
記念寿訪問の実施

目標Ⅱ：チームわきあいあい

【主体的なキャリアアップ・働き方の改善】

- * 主体的なキャリアアップ：
ポートフォリオ、e-ラーニングの活用
- * 働き方の改善：
スタッフの満足度の向上
看護師と看護補助者のワークシェアの確立

地域包括ケア病棟としての取り組み

入院

①地域包括ケア病棟入院診療計画書 カンファレンスの実施

週1回、病棟医(外科・内科)・退院調整担当看護師・理学療法士・看護師等で、地域包括ケア病棟入院時カンファレンスを行い、退院支援困難者、新規直接入院患者様の受け入れについても話し合います。

②退院支援カンファレンスの実施

週1回、看護師と医療連携室スタッフでカンファレンスを行い、退院支援を必要とする患者様を対象に、退院支援の進捗状況の確認、今後の方針について話し合います。



③他職種との連携

患者様やご家族が希望する場所へ退院できるよう、リハビリ、摂食・嚥下訓練、創傷処置など、他職種や専門看護師と連携をとり合い支援しています。



④勉強会の実施

スタッフ内で地域包括ケア病棟の勉強会を行い、地域包括ケア病棟の特徴や取り組みについて理解を深めています。

退院

患者様やご家族様が希望される退院先へ、60日以内に退院できるよう取り組んでいます！

スタッフ紹介



8病棟専任の退院調整看護師
山中 礼依

退院支援がスムーズに行える
ようにお手伝いします！



看護師・診療情報管理士
兼森 聖子

急性期病棟と地域包括ケア病
棟のきれめない連携のためが
んばっています。



摂食・嚥下障害看護認定看護師
坂田 温子

入院患者様が安全に笑顔で食事が
できるようがんばります！



認知症介護指導者・介護福祉士
浦元 こずえ

認知症患者様の対応など、何
かご相談がありましたらいつ
でも声をかけてください。

25対1の体制

看護補助者(クランク、ナースエイド、ケアワーカー)との連携

8病棟には12名の看護補助者がおり、患者様の清潔ケア・オムツ交換・食事介助など様々な業務を看護師と共に行っています。そのため、看護師とケアワーカーとの間で連携をとることが重要となってきます。どのようにして連携をとっているのか紹介します。



勤務時間表

看護補助者は6パターンの勤務体系があるため、この表にネームボードを貼り付けることで誰が何時から何時まで勤務しているのかすぐに分かります。

勤務時間	担当者
日1 9:00-14:30	山田
日2 10:30-19:00	佐藤
日3 7:30-16:15	鈴木
日4 8:30-17:15	田中
日5 10:00-18:45	高橋
日6 7:00-15:00	渡辺
日7 14:00-19:00	伊藤

食事担当表

この表にその日の食事介助担当者の振り分けを記載します。この表を見れば、食事介助担当者・食事場所・食事方法・内服薬の有無が一目でわかります。

患者氏名	食事介助担当者	食事場所	食事方法	内服薬の有無
山田 太郎	佐藤	病室	介助	あり
佐藤 花子	鈴木	病室	介助	なし

食事摂取量記入ボード

自分で下膳することができない患者様の名前をこのボードに記載しておきます。下膳した人が食事摂取量をこのボードに記載し、まとめてカルテに入力します。

患者氏名	摂取量	備考
山田 太郎	100g	
佐藤 花子	150g	

広島記念病院「理念」「憲章」

理 念

患者の皆様が、安心して受診できる、やすらぎの環境及び満足と信頼が得られる最良の医療サービスを提供する。

憲 章

1. 私達は、「癒しの心」を医療の心として職務に専念します。
2. 私達は、患者様の人権と意思を最大限に尊重し、納得と同意に基づいた全人的医療を目指します。
3. 私達は、日々自己研鑽に励み、良質で温もりのある、地域に密着した医療を心がけます。
4. 私達は、地域医療体系に参加し各々の持てる機能の連携により、より合理的で効率的な良質の医療に努めます。



地域連携室

TEL 082 (503) 0730
FAX 082 (503) 1010

内科・外科

FAX 082 (503) 0722

5病棟

FAX 082 (503) 1015

6病棟

FAX 082 (503) 1016

婦人科・小児科

FAX 082 (503) 0723

7病棟

FAX 082 (503) 1017

代表 広島記念病院

TEL 082 (292) 1271
FAX 082 (292) 8175

耳鼻科・皮膚科・泌尿器科

FAX 082 (503) 0731

8病棟

FAX 082 (503) 1018

外来診療担当表

平成 27 年 8 月 21 日現在

診療科	受付時間	区 分	月	火	水	木	金	土
内 科	8:30~11:00	一 診	隅 井	山 本	隅 井	隅 井	城 戸	当番医
		二 診	江 口	田 村	城 戸	江 口	田 村	
		三 診	炭 田	阿座上	炭 田	阿座上	山 本	
		四 診		山 田		山 田		
総合診療科	8:30~11:00		横 崎	菊 地			休 診	
外 科	8:30~11:00	一 診	宮 本	横 山	坂 下	宮 本	坂 下	当番医
		二 診	首 藤	小 林	首 藤	横 山	小 林	
		三 診						
婦人科	8:30~11:00	一 診	横 田	横 田	横 田	横 田	横 田	休 診
	13:00~14:30	一 診	横 田			横 田		
小児科	8:30~11:00	一般診療	岸		岸	岸	岸	
	13:00~13:30	健診・ 予防接種	予防接種	乳児健診(予約) (第1・3(火)のみ)	予約検査	予約検査	予防接種	
	14:30~16:00	一般診療	広大医師	藤井(裕)		岸	岸	
耳鼻 咽喉科	8:30~11:00	一 診	長 田		長 田		岡林、又 は久保田	
皮膚科	8:30~11:00		松 尾				森 脇	
泌尿器科	8:30~11:00			井 上		神 明	藤井(慎)	
眼 科	8:30~11:00	一 診	金 本	金 本	金 本	金 本	定 秀	
		二 診		藤 東		藤 東		
広島記念診療所 歯 科	8:30~11:00		山 田	山 田	山 田	山 田	山 田	電話番号 294-7858
	13:00~16:00		山 田	山 田	山 田	山 田	山 田	
ストマ外来 (皮膚・痔瘻 ケア認定看護師)	8:30~11:00		森 本				森 本	
	13:00~14:30				森 本	森 本		

* (注) 土曜日は休診ですが、内科一診、外科一診は診察しております。
歯科を除く各科とも再診は7:30から受付けています。

部分は女性医師です。

広島記念病院案内図



交通のご案内

JR 広島駅より市内電車宮島行き・己斐行・江波行にて、
本川町電停下車、南へ100メートル徒歩1分
広島バス商工センター行き・祇園大橋行きにて
本川町電停下車、南へ100メートル徒歩1分
広島駅前よりタクシーで約10分

駐車場

立体駐車場 72台、平面駐車場 10台
身障者専用駐車場 3台
詳細は病院ホームページをご覧ください